

SHOP NEWS

直売所再OPEN
11月1日(水)より
オンラインショップは
11月中旬頃再開

今期は今のところトマトの生育が順調なので、11月1日に直売所を再オープンする予定です。

その前に、ミニトマトの方が先に収穫出来そうなので、何日か前にプレオープンするかもしれません。

近くなりましたら改めて、メルマガやホームページ等でご連絡させていただきます。もししばらくお待ちください。

またオンラインショップの販売や箱詰めのご注文は、品質や収穫量が安定してくる11月中旬頃からとなりますのでご了承ください。

←親バカトマトを使ったジュースやソースのセットは只今販売中です!

親バカトマトの

トマトジュース 数量限定
 できました!



※ご注文はオンラインショップへ!
<http://shop.suketoma.com/>

現在の親バカトマト

実が大きくなり花房つり作業中

キンモクセイのあまい香りがどこからともなく漂ってきて、外にいても過ごしやすく、どこかへ出かけたくくなるような、そんな季節になりました。

只今助川農園では稲刈りとトマトの世話と、朝早くからスタッフ総出で取り組んでおります。

8月28日に植えたBハウスのトマトは3段目の花が咲き、1段目のトマトの実も大きくなって、11月には収穫が出来そうです。

今期も継続し作っている、大玉トマトの「ごほうび」という品種は、味が良く日持ちもして病気にも強い等々、とても作りやすいのですが、花房の茎が長く伸びるという性質があります。

一つの花房に平均6個の実をつけるのですが、実が大きくなるにつれて、その重さに耐えられず、花房の茎が折れたり、ずり落ちてしまったりするのです。

そのため、実まで栄養が十分に行き届き、おいしいトマトを作るためには、とても手間がかかりますが、花房を麻ヒモで釣りあげる作業は必須で、10月に入ってから、摘葉や摘芽と一緒に「花房つり」が加わりました。

トマトの実に傷をつけないよう、そっと手を添えて1本1本麻ヒモでくくっています。



農園こぼれ話

稲刈り終盤戦にメダカが!!



9月14日に稲刈りが始まって、約1ヶ月。基盤整備が終わって、今年から委託を受けている分も合わせて合計13ヘクタールの、大幅に増えた田んぼの稲刈り作業も、今週でひと段落と、終わりが見えてきました。

今年のお米は、やはり8月の天候不順の影響からか、例年よりも不作だったようです。

そんな稲刈りの合間に、田んぼの水路にメダカが沢山いるのを見つけて、大雨が降ったら流されていなくなってしまうからと、すくってきて、直売所の軒下で飼うことにしました。

小さいメダカが群れになっておよく姿はとてもかわいいです。

直売所が始まって、ご来店の際は、ぜひご覧になってください。

